

資生堂、WWF ジャパン「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」に参画



資生堂は、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(以下 WWF ジャパン)^{※1} が掲げる「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」に参画し、容器包装や使い捨てプラスチックの海洋汚染と気候変動問題の解決に取り組み、さらなる持続可能な社会の実現を目指します。

※1 WWF は 100 カ国以上で活動している環境保全団体で、1961 年に設立されました。人と自然が調和して生きられる未来をめざして、持続可能な社会の実現を推進しています。特に、失われつつある生物多様性の豊かさの回復や、地球温暖化防止のための脱炭素社会の実現に向けた活動を行っています。

WWF ジャパン「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」について

WWF ジャパンは、「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」を発足し、参画企業は 2025 年までに容器包装や使い捨てプラスチックの海洋汚染と気候変動問題の解決に向けて 5 つの取り組みを行なうことを約束します。

1. 問題のあるもの、および、必ずしも必要のないものの使用を取り止める。代替素材への切り替えの際は、その持続可能性を十分考慮する
2. 可能な限り、リユース（他の素材のリユースを含む）へと切り替える
3. 可能な限り、リユース、リサイクル可能なデザインとする
4. リサイクル素材の意欲的な使用目標を設定する
5. リユース、リサイクル率を向上させるためにステークホルダーと協力する

(参考)「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」特設ページ <https://www.wwf.or.jp/campaign/pcc2025/>

資生堂の容器包装や使い捨てプラスチックの取り組み

当社は、環境課題の対応として、「地球環境の負荷軽減」「持続可能な製品の開発」「持続可能で責任ある調達の推進」の 3 つのアクションを定め、全バリューチェーンを通じて、さまざまなステークホルダーとともに、環境負荷の軽減と持続可能な資源の利用に向けた取り組みを推進しています。「持続可能な製品の開発」においては、2025 年までに化粧品容器を 100%持続可能な容器包装にすることを目標^{※2}にし、プラスチック量削減と環境負荷低減が期待できる「つめかえ・つけかえ」容器の採用や、リサイクルしやすい容器設計、さらに使用済み容器の店頭での回収などの取り組みを積極的に展開しています。当社は企業使命である「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD」のもと、「人々が幸福を実感できる」持続可能な社会を実現するために、「美」を楽しめる地球環境に貢献します。

※2 プラスチック製容器包装について

(参考) サステナビリティレポート 2020: <https://corp.shiseido.com/jp/sustainability/pdf/2020.pdf>